



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1326 2022年10月3日

### 10月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波受信障害防止に向けた集中的活動を実施しています。会員の皆様も電波障害の防止にお一層のご協力をお願いします（詳細はARIBニュース No.1322 2022年9月5日を参照ください）。

#### ARIBの動き

### 第28回 ITS 世界会議ロサンゼルス2022が開催される

9月18日（日）から22日（木）まで、ITS America 主催の第28回 ITS 世界会議が Los Angeles Convention Center (LACC)において開催されました。今回は「Transformation by Transportation」をテーマに、世界各国から ITS 関係者や政府関係者が集まり講演と展示が行われました。

ARIB が事務局を務める ITS 情報通信システム推進会議は、ジャパン・パビリオン内に展示ブースを出展し、日本における活動状況を紹介するとともに、これまでの成果をまとめたブックレットの配布をおこない、ITS 関係者から高い関心が示されました。

#### 【開催概要】

- ・開催期間 2022年9月18日(日)～22日(木)
- ・参加者(登録者数) 約6500人以上\*  
ARIB から横山研究開発本部次長、ITS グループの渡部担当部長が参加
- ・セッション数 211\*
- ・参加地域 64ヶ国\*
- ・出展団体数 221団体\* (\*速報値)



Los Angeles Convention Center (LACC)

9月21日に開催されたセッション SIS75 では、ITS 情報通信システム推進会議 国際対応専門委員長 山本武志様がモデレータを務め、「Current Status of ITS Radiocommunications In The World」をテーマに講演がおこなわれました。本セッションでは ITU-R、日米欧の政府や関係団体からの登壇者が各地における V2X の検討状況と今後について報告・議論を行いました。日本からは、総務省 総合通信基盤局 電波部 新世代移動通信システム推進室 国際係長 東良樹様が総務省の ITS や自動運転に向けた取り組みについて講演を行いました。



国際対応専門委員長  
山本 武志 様



総務省 総合通信基盤局 電波部  
新世代移動通信システム推進室 国際係長 東 良樹 様

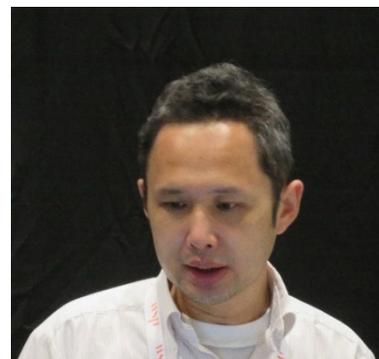
また、9月18日に行われたセッション SIS17 では「Automated Driving for Universal Services」をテーマに講演が行われました。日本からは、総務省 総合通信基盤局 電波部 新世代移動通信システム推進室長 増子喬紀様が「MIC's Recent Activities on ITS」と題して、Connected Car のユースケースとロードマップや 5.9GHz 帯 V2X 通信の検討、狭域・中域ネットワークの協調、アジアでの国際協調など日本における ITS の取り組みについて講演を行いました。

加えて、9月20日に行われたセッション SIS57 では「5G: One of the Pillars of Transformation」をテーマに講演が行われました。日本からは、株式会社 NTT ドコモ 6G-IOWN 推進部 担当部長 永田聡様が「5G V2X standardization and NTT DOCOMO Activity」と題して、C-V2X に係る 3GPP での 5G NR の対象ユースケースや仕様案、Rel-8 から Rel-17 までの検討の推移について講演を行いました。

その他にも、日本からは SIP-Adus や Road to the L4 の関係者が多数講演しました。



総務省 総合通信基盤局 電波部  
新世代移動通信システム推進室長 増子 喬紀 様



株式会社 NTT ドコモ 6G-IOWN 推進部  
担当部長 永田 聡 様

展示会場中央手前に位置するジャパン・パビリオンでは、ITS 情報通信システム推進会議がブース展示を行いました。日本における活動状況を紹介するパネルを展示するとともに、これまでの成果をまとめたブックレットの配布を行いました。また、会場内のトヨタブースでは、「V2X Technology」との題名で、日米欧中豪の V2X 用通信の比較や DSRC (802.11bd/NGV : Next-Generation V2X) と V2X (LTE/NR : New Radio) やハイブリッド通信、DSRC から NGV/DSRC+を紹介するパネル展示を行いました。また、パナソニックブースでは 60GHz WLAN と 5G が連携した交差点安全などについて展示が行われました。



ITS 情報通信システム推進会議ブース

最終日のクロージング・セレモニーでは、期間中の講演について優秀表彰が行われるとともに、次回の ITS World Congress は、蘇州市政府、江蘇省交通部、中国交通部公路科学研究院の主催で「Driving Towards Intelligent Society - Quality Life」をテーマに 2023 年 10 月 16 日～20 日に中国の蘇州で開催されることが報告されました。加えて、2024 年のドバイに続き、2025 年は米国アトランタで開催されることが発表され、5 日間にわたる会議を締め括りました。



恒例の「パッシング・グローブ」セレモニー  
次回開催の蘇州市交通局に手渡されました

## 「第9回グローバル 5G イベント」の概要

9月20日（火）～21日（水）の1.5日間の日程で、The 9th Global 5G Event が、第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）と総務省の共催によりホテルニューオータニ東京及びオンラインの併用にて開催されました。Global 5G Event は、日本、米国、欧州、中国、韓国、ブラジル、インドの5G推進7団体が、5Gの普及を目的に最新の情報共有や課題への取組等に関する合意形成について連携するために結んだ覚書（MoU）に基づき年1回開催され、日本での開催は2017年の第3回以来2回目となります。

今回のイベントは、会場とオンラインあわせてのべ約600名（1.5日間の累計）を超える参加があり、各セッションのテーマに沿って各国から特色のある講演や様々な課題に対する熱心な議論が行われました。

当イベントでは、講演及びパネルディスカッションが6つのセッションで、また展示が3つのブースにおいて行われました。（プログラムは[5GMF ホームページ](#)）に掲載されています。）



各国参加者との記念撮影



イベント会場の様子

### 1. 主なプログラムの内容

イベントの冒頭、総務省による2021年度ローカル5G開発実証事業の現地活動を撮影したオープニングビデオが会場内に放映され注目を集めました。

開会式において、5GMF 会長 吉田進様から、5G 関係者間の一層の緊密な連携により5Gの円滑な普及・発展と Beyond 5G の検討に関する情報共有の重要性を指摘する、開会挨拶がありました。続いて、総務大臣政務官 国光あやの様から、総務省発表の「デジタル田園都市国家インフラ整備計画」の中心的な活動として5Gネットワークの効率的な社会実装をさらに進めることが重要であり、各国の相互理解、国際協力の強化が必要とのご挨拶がありました。その後、総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長 中村裕治様から、日本における5Gサービスと導入施策、ローカル5Gの展開状況等についてキーノートスピーチが行われました。



総務大臣政務官  
国光 あやの 様



総務省 総合通信基盤局 電波部  
移動通信課長 中村 裕治 様



5GMF 会長  
吉田 進 様

オープニングセッションでは、5G Americas 会長 Chris PEARSON 様がモデレータ兼スピーカーを務め、「Regulations and Policies for 5G」をテーマに、講演と議論が行われました。

総務省 移動通信課長 中村裕治様からは、ミリ波の活用が課題であり、ミリ波のための魅力的なサービス、アプリケーションの登場が必要であるとの認識が示されました。

5G は世界で約 8 億の接続数に達しており、また、各国独自のユースケースに適用できる柔軟性を備えるが、まだ普及プロセスの初期段階であることが共有されました。

セッション 1 では、華為技術日本株式会社 Kodo SHU 様がモデレータを務め、「5G Business Trend on Commercialization」をテーマに、講演と議論が行われました。

KDDI 株式会社 寺部滋郎様から、価値観の多様化などビジネス環境の急速な変化への対応や、ネットワークスライシングの重要性と課題の報告がありました。

各国商用化の取組では、ミリ波の特性を活かしターゲットを絞ることでギガバイトあたりの高コストパフォーマンスへの期待などの意見も示されました。

セッション 2 では、ブラジル国立通信研究所 (INATEL) Luciano MENDES 様がモデレータを務め、「5G Network Development and Installation for Advanced 5G」をテーマに、講演と議論が行われました。

富士通株式会社 中村隆治様から、トラフィックの増加率は依然として高く、ミリ波の活用が重要であり、伝搬モデルの更なる研究が必要との認識が示されました。

各国の取組として、5G の高消費電力や脱炭素の問題、バックホールや機器に起因する遅延、ミリ波活用の課題と展望について報告がありました。

セッション 3 では、6G-IA 会長 Colin WILLCOCK 様がモデレータ兼スピーカーとなり「Prospects from 5G to Beyond 5G」をテーマに、講演と議論が行われました。

株式会社 NTT ドコモ 中村武宏様から、Beyond 5G 推進コンソーシアム 白書分科会主査として「Beyond 5G」白書を基に、Beyond 5G に必要な機能の検討状況と、さまざまな業界の潜在的な要件により非常に高い性能が求められるとの認識が示されました。

6G の原則として、経済的・社会的持続可能性、グリーン開発等の環境持続性、技術革新の指摘があり、当初は技術革新の性能特定やユースケースに合わせた検討が行われるとの認識が示されました。

セッション 4 では、インド政府上級管理職 SN Rama Gopal 様がモデレータを務め、「Security and Trust for 5G Network and Application」をテーマに、講演と議論が行われました。

慶應義塾大学教授 手塚悟様により 5GMF におけるセキュリティ調査研究委員会の活動について、IoT、コネクテッドカー、金融サービス、標準化の 4 つの WG での調査・検討の状況の報告がありました。

各国からは、5G サービスは、スマートシティや自動運転など、さまざまなサービスへの活用が期待されており、セキュリティがますます重要になるとの認識の共有がなされました。

スペシャルセッションでは、株式会社インフォシティ代表取締役 岩浪剛太様がモデレータを務め、「Japan's initiatives for Advanced Service Application of 5G」をテーマに日本における 5G サービスの高度化にむけた先進的な取組についての紹介があり、議論が行われました。

スピーカーとして、ソニーグループ株式会社 R&D センター 野本和正様、株式会社ビットメディア代表取締役社長 高野雅晴様、テレポート株式会社代表取締役 CEO 平野友康様、コメンテータとして東京大学教授 中尾彰宏様が登壇しました。

スタートアップ企業を支援する「TOKYO 5G Boosters Project (5G 技術活用型開発等促進事業)」に参画し、5G 技術を駆使したメディアサービス技術確立への取組の紹介や、VR や AR のような新しいエンタテインメントコンテンツ制作と仮想映画スタジオの事例や XR 技術の紹介、ローカル 5G への期待などについて講演がありました。

#### 日本からの登壇者



寺部 滋郎 様



中村 隆治 様



中村 武宏 様



手塚 悟 様



岩浪 剛太 様



中尾 彰宏 様



高野 雅晴 様



平野 友康 様



野本 和正 様



大村 好則

#### 2. 展示ブース

総務省による 2021 年度ローカル 5G の開発実証事業の説明スライドや実証現場のビデオ放映、ローカル 5G の普及・展開にむけた取組に加え、スペシャルセッションの予告として、5G サービスの高度化の取組について登壇者の紹介や講演概要について展示を行いました。



展示ブースの様子

#### 3. 閉会

- 1) 全てのセッション終了後、韓国 5G Forum から、第 10 回イベントを 2023 年 10 月 30 日の週、ソウルにおいて開催することが宣言されました。
- 2) Wrap-up として 5G 関係者に対しイベントの議論を通じたメッセージがあり、閉会式において 5GMF 事務局長 (ARIB) 大村好則から、総務省をはじめ全ての関係者への謝辞をもって 1.5 日間のイベントに幕を閉じました。

なお、閉会後に 7 団体代表による打合せを開催し、対面開催による大きな効果を確認しました。また、本イベントの閉会メッセージとして合同プレスリリースを各団体のホームページに掲載し、2024 年にはインドでイベントを開催することも決定しました。

## 第 311 回 技術委員会（通信分野）を開催

第 311 回技術委員会（通信分野）を開催しました。

1. 日 時 : 2022 年 9 月 28 日（水）15 時 30 分～16 時 10 分
2. 場所・形態 : Web 会議併用
3. 議 題 :
  - (1) 第 119 回規格会議の開催について
  - (2) APG-23 第 4 回会合の概要について
  - (3) CJK IMT WG 第 65 回会合の概要について
  - (4) APT 無線グループ第 30 回会合（AWG-30）の概要について
  - (5) CEATEC 2022 での ARIB の出展について
  - (6) その他

## 今週の ARIB 内会合（10 月 3 日～10 月 7 日）

- 10 月 3 日（月） : デジタル放送システム開発部会  
権利保護作業班／アクセス制御方式作業班（合同会合） Web 会議
- 10 月 6 日（木） : 第 119 回規格会議

## 今週の国際会合（10 月 3 日～10 月 7 日）

- 9 月 26 日（月）～10 月 7 日（金） : ITU-R SG7（ジュネーブ） Web 会議併用

*総務省などからのお知らせ*

## 情報通信研究機構 新技術説明会の開催

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）では、2022 年 10 月 27 日に「情報通信研究機構 新技術説明会」を国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）との共催でオンライン開催します。説明会では NICT で創出された新たな技術の実用化を目的として、技術移転や共同研究

にご関心のある企業等関係者の皆様にむけて、研究者自らが直接プレゼンします。

ご関心のある企業等の皆様におかれましては、お申し込みの上、ご聴講いただきますようお願い申し上げます。

開催日時：2022年10月27日（木）10:00～11:55

会 場：オンライン開催

参加費：無料

主 催：JST、NICT

講演プログラム：

講演時間	講演タイトル
10:00～10:25	超多数端末接続ネットワークでの高精度時刻管理方式
10:30～10:55	言語や五感情報を統合できる脳情報空間モデルの作成技術
11:00～11:25	任意のスピーカ配置に対応した複数領域音場制御技術
11:30～11:55	脳波を用いた学習者のモチベーションの可視化

詳細、お申し込みについては【[情報通信研究機構 新技術説明会のホームページ](#)】をご覧ください。

### 陸上無線通信委員会報告（案）に対する意見募集

【令和4年9月22日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会は、「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち、「小電力を用いる自営系移動通信の利活用・高度化方策に係る技術的条件」のうち、「自動的に又は遠隔操作によって動作する簡易無線の技術的条件」について陸上無線通信委員会報告（案）として取りまとめましたので、2022年9月23日（金）から同年10月24日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については【[令和4年9月22日の総務省報道資料](#)】をご覧ください。

**「移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証に関する指針」  
(案) 及び固定通信分野における「接続料と利用者料金の関係の検証に  
関する指針」の改定案に対する意見募集**

**【令和4年9月28日発表】**

総務省は、接続料等と利用者料金との関係が価格圧搾による不当な競争を引き起こすものとならないかを検証し、その結果に応じて必要な対応を行うため、「移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証に関する指針」(案) 及び固定通信分野における「接続料と利用者料金の関係の検証に関する指針」の改定案を作成しました。

本指針案等について、2022年9月29日(木)から同年10月28日(金)までの間、意見募集を行っています。

詳細については【[令和4年9月28日の総務省報道資料](#)】をご覧ください。

**「新たな携帯電話用周波数の割当方式に関する検討会取りまとめ」(案)に  
対する意見募集**

**【令和4年9月29日発表】**

総務省は、携帯電話用周波数の利用ニーズの急速な増加等を踏まえ、電波の有効利用を一層促進する等の観点から、2021年10月より「新たな携帯電話用周波数の割当方式に関する検討会」を開催しています。

本検討会において、「新たな携帯電話用周波数の割当方式に関する検討会取りまとめ」(案)が取りまとめられましたので、2022年9月30日(金)から同年10月31日(月)までの間、意見募集を行っています。

詳細については【[令和4年9月29日の総務省報道資料](#)】をご覧ください

**ARIB**

**Association of Radio Industries and Businesses**

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)